



それぞれの力を生かしましょう

市政改革大綱に基づき、市の施設および事務・事業の外部委託または民営化などを推進するため「市アウトソーシング方針」を定めています。その中で、養護老人ホーム和光園を社会福祉法人市比野福祉会に譲渡(写真)。また、26年間開設した東京事務所を廃止しました。今後も最小の経費で最大の効果を挙げるよう取り組んでいきます。



ワクワク!すくすく!楽しい子育て

県や市、協賛店舗などが協力し、妊娠中および18歳未満の子どもがいる世帯を支援する「かごしま子育て支援パスポート事業」が1月に開始。そのほか、3歳未満児の医療費の無料化や不妊治療の費用を一部助成するコウノトリ支援事業、甑地域に住む妊婦が島外で健診を受ける際の交通費を一部助成するこしき子宝支援事業を開始しました。



これからご利用ください

4月25日、大阪・神戸と上海を結ぶ貨客船「新鑿真」が川内港に寄港20周年・50回目を迎え、また、7月23日には、少年自然の家も開所から20周年の節目の日を迎えました。このことは、市民の皆さんなどから利用され、愛してもらった結果だと思えます。今後も多くの方に末永く利用され、愛してもらえるよう努力していきます。



みんなの力を結集して頑張ろう

4月1日、高城、樋脇町、入来町、東郷町、祁答院町、里村、上甑町、下甑村と県内最多の8商工会が合併し薩摩川内市商工会が発足しました。2日には新しい商工会の開所を祝しての開所式もありました。今後は、入来町副田にある本所を中心とした活動が期待されます。なお、ほかの旧7商工会は支所になり活動を行っています。



働く場と人の流れをつくる

京セラ(株)鹿児島川内工場が機械工具製品工場の増設(写真)に向け、本市と立地協定を結びました。また、富士通インテグレイテッドマイクロテクノ(株)が、LSI(高密度集積回路)製造を入来町の九州工場に集約すると発表しました。今後も企業誘致にさらに力を入れ、雇用の場を確保するとともに、定住対策にもつなげていきます。



候補地に川永野町を選定

5月8日、伊藤祐一郎県知事が川永野町を公共関与の産業廃棄物管理型最終処分場の候補地として選定したと発表。それ以後、調査・建設に反対する市民団体が約2万人の署名を集めて森市長へ提出するなど県の姿勢に対して不安や不満の声も上がっています。現在、市や市議会でも検討しており、県の調査結果を待って判断することとしています。